

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	在来下水対策事業	会計	一般会計	事業No.	566	施策順No.	41-017
		事業種別	政策・その他	予算科目	8-3-3-12-5		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	41 災害対策の推進		事業期間	開始	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	橋南地区、橋北地区の排水不良地区内戸数。						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	在来下水の不良か所を補修することにより、大雨や台風の被害を最小限にとどめる。							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		対象戸数:戸		3020	3020	3020	3020		
		単年度整備済対象戸数:戸	39	40	40	30	30	30	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		在来下水管が宅地の中にあることが多いことから、対象となる切り替え箇所が変動したが、概ね対応できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	・昭和22年の大火前から橋南地区、橋北地区に布設されている在来下水管の老朽化により不具合が生じている箇所について、機能回復を図るため早期に整備を進める。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	橋南、橋北地区一帯の在来下水の整備	施工延長	L=34m
23年度実施計画	橋南、橋北地区一帯の在来下水の整備	施工延長	L=60m

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		4,275	4,275	4,000		
計 (A)		4,275	4,275	4,000		
正規職員所要時間			50			
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			179			
トータルコスト A+B			4,454			

4 事業に対する市民や議会の意見

・災害等に対する事前防衛のため、市民の要望も強い。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産の災害や火災の被害を軽減する	施策の成果指標又はムトス指標	市民が災害にそなえている割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	既成市街地の雨水対策として貢献できている。		
	後期に向けた課題	老朽化した在来下水管が中心市街地には多くあり、継続して対策を講じる必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	住宅の建て替えに合わせ布設替を行うことでより成果が向上できる。		
	後期に向けた課題	個人の宅地内にある老朽管については計画的に改修できず随時対応しているため、引き続き住宅の建て替えが発生したときに対応する。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	水道老朽管布設替や舗装補修など他事業による工事に合わせ施工することにより掘削影響の軽減などコストを削減できた。		
	後期に向けた課題	引き続き他事業の道路工事に合わせ対応することによりコスト削減を図る。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	管理責任は市にあり、老朽管の布設替を行う必要がある。		
	後期に向けた課題	引き続き雨水対策は必要であり、市が関与する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	管理者は飯田市である。		
	後期に向けた課題	管理者は飯田市である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	水道老朽管布設替や舗装補修など他事業による工事に合わせ実施してきた。		
	後期に向けた課題	民地や建物の地下に存在する場合があります、その布設替対策が困難な箇所が多く、課題となっている。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------